

暮らしのSDGs 学習会

市民、企業や自治体など、政府以外の主体、いわゆる非国家アクターは、脱炭素化の実現に重要な役割を果たしています。非国家アクター自ら脱炭素化に向けて行動を強化することはもちろん、非国家アクターどうしが力を合わせて行う政策提言も注目されています。日本の企業や自治体、市民はどう気候変動に向き合い、どんな成果を上げているのでしょうか。多様な非国家アクターの最前線の取り組みを紹介します。

というのが、セミナーの主題でしたので、204 回の学習会ではその内容について説明します。

<第204回 暮らしのSDGs学習会>

- 1, 日時=2024年11月15日(金) 13:30~15:30
- 2, 会場=流山市生涯学習センター(3F) 会議室
<http://nagareyama-shougaigakushucenter.jp/access.html>
- 3, 内容=市民・企業・自治体は1.5度目標をめざす(連続セミナー第4回)
[1.5℃へのアクション連続セミナー\(全4回\) CAN-Japan](#)
- 4, 説明=筒井 義憲(千葉県地球温暖化防止活動推進員、OBN会員)
- 5, 定員=18名(定員に達した場合は締切ります)。
今回もZOOM発信はありません。
- 6, 申込=筒井 義憲(Tel: 090-3130-5541)
E-Mail tsutsu_1213_yoshi@yahoo.co.jp

主催	: 暮らしのSDGs 学習会
実施	: 温暖化防止ながれやま(略称OBN)

<次回予定>

- 日時 = 2024年12月13日(金) 13:30 我孫子駅北口集合 (16:00頃終了予定)
- 内容 = 我孫子 電力中央研究所 見学
[FAQ | 電力中央研究所 \(denken.or.jp\)](#)
- 担当 = 筒井 義憲